

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年02月10日

計画の名称	川崎市内における道路交通の円滑化を促進する道路整備												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	川崎市												
計画の目標	川崎市内の拠点間及び近隣都市等とを連絡する道路機能の強化や緊急輸送道路の拡充を図ることを目的とした道路整備を推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,146	A	3,146	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)		(R6末)
1	市域交通の骨格をなす緊急輸送道路の整備 緊急輸送道路の整備率の向上(%) 整備後の緊急輸送道路整備率 - 整備前の緊急輸送道路整備率	0%	%	3%
2	混雑時の車両走行速度の改善 混雑時平均走行速度の改善率(%) ( (整備後の混雑時平均走行速度 / 整備前の混雑時平均走行速度) - 1 ) × 100	0%	%	3%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	川崎市	直接	川崎市	S街路	新設	尻手黒川線(期)	バイパス L=0.7km	川崎市						1,550	-	
	A01-002	街路	一般	川崎市	直接	川崎市	S街路	新設	宮内新横浜線(子母口)	バイパス L=0.2km	川崎市						250	-	
	A01-003	街路	一般	川崎市	直接	川崎市	S街路	改築	世田谷町田線(登戸)	現道拡幅 L=0.8km	川崎市						560	-	
	A01-004	街路	一般	川崎市	直接	川崎市	S街路	改築	野川柿生線(王禅寺)	現道拡幅 L=0.47km	川崎市						300	-	
	A01-005	道路	一般	川崎市	直接	川崎市	市町村道	新設	(市)宮内新横浜線( ( 仮称)等々力大橋)	橋梁新設 L=0.4km	川崎市						85	-	
	A01-006	道路	一般	川崎市	直接	川崎市	国道	改築	(国)国道409号(市ノ坪 )	現道拡幅 L=0.6km	川崎市						15	-	
	A01-007	道路	一般	川崎市	直接	川崎市	市町村道	改築	(市)横浜生田線(水沢 )	バイパス L=0.1km	川崎市						186	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-008	道路	一般	川崎市	直接	川崎市	市町村道	改築	(主)幸多摩線	現道拡幅 L=0.2km	川崎市						200	-	
											小計						3,146		
											合計						3,146		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	245	338	268	0	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	245	338	268	0	
前年度からの繰越額 (d)	0	45	116	0	
支払済額 (e)	200	267	167	0	
翌年度繰越額 (f)	45	116	217	0	
うち未契約繰越額(g)	36	5	30	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	14.69	1.3	7.81	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	令和2年度補正予算分				